

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-139418

(43)Date of publication of application : 22.05.2001

(51)Int.Cl.

A61K 7/00  
A61K 7/06  
A61K 7/075  
A61K 7/08  
A61K 7/09  
A61K 7/13  
A61K 7/50

(21)Application number : 2000-322032

(71)Applicant : L'OREAL SA

(22)Date of filing : 20.10.2000

(72)Inventor : DECOSTER SANDRINE  
DOUIN VERONIQUE  
BAILLY VIRGINIE

(30)Priority

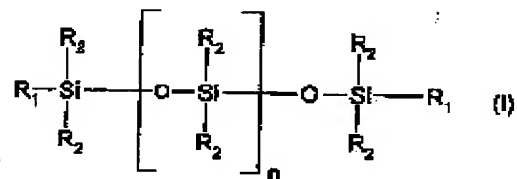
Priority number : 1999 9913097 Priority date : 20.10.1999 Priority country : FR

(54) COSMETIC COMPOSITION INCLUDING VINYL DIMETHICONE/ DIMETHICONE COPOLYMER AND CONDITIONER AND USE OF THE SAME

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a composition having improved cosmetic properties in regard to liability of hair to tangle, smoothness and softness.

SOLUTION: The composition includes a predetermined conditioner and a silicone polymer having  $10^6$ – $10^6 \times 10^6$  cP of viscosity obtained by an addition reaction of (a) a polysiloxane of formula (I) and a silicone compound (b) having a group capable of reacting with the group R<sub>1</sub>, in a medium permissible as a cosmetic. [R<sub>1</sub> is H or a group capable of carrying out a chain addition reaction with an aliphatic group or the like including an ethylenic unsaturated group; R<sub>2</sub> is an alkyl, a cycloalkyl, an aryl, an alkylaryl or hydroxyl each optionally including an ether, an amine, a carboxyl, a thiol or the like, n is an integer preferably making the polysiloxanes of the formula (I) to have a kinetic viscosity of  $1-1 \times 10^6$  mm<sup>2</sup>/s].





(11) 特許出願公開番号

(43) 公開日 平成13年5月22日(2001.5.22)

最終頁に脱く

【化1】



(上式中、 $n$ は、水素原子又はエチレン性不飽和を含む脂肪族基等の連鎖付加反応により反転可能な基を表し、 $R_2$ 基はアルキル基、シクロアルキル環、アリーキル、またはアルキル基又はドロキシル基を表し、またエーテル、アミン、カルボキシ、ヒドロキシ、チオール等の官能基を含んでもよく、 $n$ は、式(1)の0.1から1.0までの範囲にあり、 $s$ は、式(1)の0.1から1.0までの範囲にある。)

【請求項1】 一合成油、

—天然又は合成ロウ。

以下の式(1)：

【化1】



上式中、

—R<sub>1</sub> は、C<sub>14</sub>—C<sub>30</sub> 脂肪酸から誘導された直鎖状又は分枝状の飽和又は不飽和のアルキル基であり、α位



〔式中、R<sub>1</sub>は、水素原子又はエチレン性不飽和、特にビニル、アリール又はヘキセニルを含む脂肪族基等の連鎖基を有するシクロアルキル基、アリール基、7~200炭素数を有するシクロアルキル基、アリール基、5~6の炭素原子を持つアルキル基。式(1)のR<sub>2</sub>基は1~20の炭素原子を持つアルキル基。〕

(1)のポリシロキサンが好ましくは $1 \sim 1 \times 10^6$  mmol/lのアート等の官能基を含んでいてもよく、nは、式(1)のポリシロキサン(a)と、-ポリシロキサン(a)を1つのポリシロキサン(a)と、-ポリシロキサン(a)

とを特徴とする化粧品組成物。

【請求項2】 R<sup>2</sup>がメチルを示すことを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 タイア(b)の化合物が、ポリシロキサン(b)のR<sub>1</sub>基がポリシロキサン(a)のR<sub>1</sub>基と反応可能なタイア(a)の他のポリシロキサンであることを特徴とする請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】 シリコンポリマーが、少なくとも、

特開2001-139418

においてヒドロキシ基で、あるいは $\omega$ 位において飽和又は不飽和の $C_{16}-C_{30}$ 脂肪酸でエステル化されたヒドロキシ基で置換されることが可能であり；

$-R_2$  は、水素原子又は(タリコシル)  $n$ 、(タラクトシル) 又はスルホタラクトシル基であり、 $n$  は 1 から 4 の整数であり、 $m$  は 1 から 8 の整数であり、

—R3は、 $\alpha$ 位において飽和又は不飽和のC15—C26炭化水素基であり、この基は、又はそれ以上のC1—C14アルキル基で置換されていてもよい。セラミドであって、天然のセラミド又はリコセラミドの基合は、R3はC15—C26  $\alpha$ -トコシルアルキル基であつてもよく、 $\alpha$ -トコシル基は任意にC16—C30  $\alpha$ -トコシル基で置換されていてもよいものから選択する少なくとも1種のコンデニコナー。次の式(1)：

【化2】

(a) 1 つの  $\alpha$ ,  $\omega$ -ジヒドロシロキサンと  
 (b) 1 つの  $\alpha$ ,  $\omega$ -ジヒドロシロキサンと  
 の、ヒドロシリル化触媒の存在下での付加反応により得られることを特徴とする請求項 1 ないし 3 の何れか 1 項に記載の組成物。

この形態であることを特徴とする請求項1ないし4の何れか1項に記載の組成物。

【請求項7】 合成剤が、硬化又は非硬化ポリテレン型あるいは硬化又は非硬化ポリデセン型のポリオレフィン類であることを特徴とする請求項1ないし6の何れか1項に記載の組成物。

【諸説考】 動物性又は植物性油が、ヒマシ油、コ  
ーン油、大豆油、アボカド油、お茶油、ゼニオイ  
油、ガム・ナツード油、ナール油、ペーセルツァッ油、魚  
油、グリス・トリカ・フロカ・トリカ、又は炭素  $C_{20}$   
 $OO R_0$  にて、 $R_0$  は、7~20の炭素原子を含む  
高級脂肪族基を表し、 $R_{10}$  は、3~30の炭素原  
子を含む直鎖又は分枝鎖の炭化水素系、特にアルキル  
又はアルケニル基を表す。の諸成分又は動物性油、ユー  
カリ油、ハネグリス・ド・ラベンダー油、ラベンダー油、  
パチパチ油、リトソ・キエ・パチ、レモン油、白樹  
油、ローズマリー油、カマンダール油、キダチ・ハナカ

ナツメグ油、シナモン油、ヒソツツ油、キヤラウエー油、オレンジ油、カラニオール油、カチ油及びベルガモット油等の天然又は合成の精油からなる群から選択されることを特徴とする請求項1ないし6の何れか1項に記載の組成物。

【請求項9】 ロウが、カルナウバロウ、キャンデリラロウ、アルファルファロウ、パルメソロウ、オノクライト、オリーブの木のロウ、ライノスワックス、硬化ホホバワックス又はクワサスリの花のエッセンス、ワイルドローズ等の植物油等の植物性ロウ、ミツロウ、ワシロウ等の動物性ロウ、及びポリエチレンロウ又はポリオレフィンロウから選択されることを特徴とする請求項1ないし6の何れか1項に記載の組成物。

【請求項10】 セラミド型化合物が、  
— 2-N-リノールアルミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-ヘリカルアミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-シスミトイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-シスミトイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-ステアリルアミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-ペンノイルアミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-(2-ヒドロキシバルミトイル)アミノオクタデカン-1,3-ジオール、  
— 2-N-ステアリルアミノオクタデカン-1,3,4-トリオール、及び特にN-ステアリルアラニンスライソシン、  
— 2-N-バルミトイルアミノヘキサデカン-1,3-ジオール、  
又はこれらの化合物の混合物から選択されることを特徴とする請求項1ないし6の何れか1項に記載の組成物。

【請求項11】 コンデインョナーが、組成物の全重量に対して0.001～20重量%、好ましくは0.01～10重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項1ないし10の何れか1項に記載の組成物。

【請求項12】 アニオン性、非アニオン性及び両性界面活性剤、及びそれらの混合物から選択される少なくとも1つの界面活性剤を更に含有することを特徴とする請求項1ないし11の何れか1項に記載の組成物。

【請求項13】 界面活性剤類が、組成物の全重量に対して0.1～60重量%、好ましくは3～40重量%、より好ましくは5～30重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項12に記載の組成物。

【請求項14】 少なくとも1つのカチオン性界面活性剤を更に含有することを特徴とする請求項1ないし13の何れか1項に記載の組成物。

【請求項15】 カチオン性界面活性剤が、組成物の全重量に対して0.1～10重量%の濃度で存在すること

を特徴とする請求項14に記載の組成物。

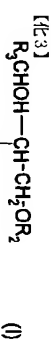
【請求項16】 増粘剤、香料、具状化剤、防腐剤、シリコーン又はシリコン、ソルナンススリコーン剤、ビタミン類、プロピルシラン類、カチオン性、両性、アニオン性又は非アニオン性ポリマー、タンパク質、タンパク加水分解物、1,8-メチルエーゴサン酸、ヒドロキシ酸、パントニール、脂溶性又は非脂溶性で、環状又は直鎖もしくは架橋された、炭素又は未変性シリコーン類から選択される少なくとも1つの添加剤を含有していることを特徴とする請求項1ないし15の何れか1項に記載の組成物。

【請求項17】 シヤンダー、すざ式又は非すざ式コンデインョナー、毛髪のカレーベネット処理、ストレーパー処理、染毛又はグリーチング用の組成物、パーベネット処理又はストレーパー処理の段階の2工程間に適用されるすざ式組成物、あるいはポリイソブレン組成物の形態であることを特徴とする請求項1ないし16の何れか1項に記載の組成物。

【請求項18】 クラチン物質の洗浄又はケアのための用途を有する請求項1ないし17の何れか1項に記載の組成物。

【請求項19】 請求項1ないし18の何れか1項に記載の化粧品組成物をクラチン物質に適用し、その後必要に応じて水で洗い流すことを特徴とする髪等のクラチン物質の処理方法。

【請求項20】 一合成油、  
—動物性又は植物性油、  
—フルオロ油又はパーフルオロ油、  
—天然又は合成ロウ、  
—以下の式(1)：



（上式中、  
—R<sub>1</sub>は、C<sub>14</sub>～C<sub>30</sub> 脂肪族から誘導された直鎖状又は分枝状の飽和又は不飽和のアルキル基であり、α位においてヒドロキシル基で、あるいはβ位において飽和又は不飽和のC<sub>16</sub>～C<sub>30</sub> 脂肪族でエスチル化されたヒドロキシル基で置換されることが可能であり；  
—R<sub>2</sub>は、水素原子又は(グリコシル)n、(ガラクトシル)m又はスルホガラクトシル基であり、nは1から4の整数であり、mは1から8の整数であり、  
—R<sub>3</sub>は、α位において飽和又は不飽和のC<sub>15</sub>～C<sub>26</sub> 炭化水素系基であり、この基は1又はそれ以上のC<sub>1</sub>～C<sub>14</sub> アルキル基で置換されていてもよく；天然のセラミド又はグリコセラミドの場合は、R<sub>3</sub>はC<sub>15</sub>～

C<sub>26</sub> α-ヒドロキシアルキル基であってもよく、該ヒドロキシル基は任意にC<sub>16</sub>～C<sub>30</sub> αヒドロキシ酸でエスチル化されていてもよい）から選択されるコンデインョナーを含有する化粧品組成物における、又は該組成物の製造における、請求項1ないし5の何れか1項に記載のシリコーンポリマーの使用。

【発明の詳細な説明】  
【0001】  
【発明の属する技術分野】 本発明は、少なくとも1つの特定のコンデインョナーとエチレン性不飽和を含むジメチコーン-ジメチコーンの少なくとも1つのコポリマーとを化粧品的に許容可能な媒体中に含有する新規化粧品用組成物に関する。

【0002】  
【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 大気中の成分の作用又は機械的作用又は化学的処理、例えば、染色、脱色及び/又はパーベネットウエー処理の作用により、様々な程度に乾燥化された(すなわち、ダメージを受け及び/又は酷くなった)毛髪は、もつれをほぐしたりスタイリングを行うことが困難で、ソフト感に欠けることがしばしばあることはよく知られている。

【0003】 毛髪のもつれをほぐし易くし、毛髪にソフト感としなやかさを与与するために、毛髪等のクラチン物質を洗浄又は手入れする組成物において、コンデインョナー、特にカチオン性ポリマー又はシリコーンを使用することは既に推奨されている。しかしながら、上述したような美容的利点には、残念なことには、乾燥した毛髪では、望ましくないと考えられるある種の美容的影響、すなわちヘアースタイルの長く垂れた感じ(laneness)(毛髪の軽さの欠如)、滑らかさの欠如(毛髪の根本から先端までが不均質)が伴う。さらに、この目的のためにカチオン性ポリマーを使用すると、様々な欠点が生じる。毛髪に対するその高い潤滑性のため、これらのポリマーのなかには、繰り返して使用するうちに多くの量が付着するようになり、望ましくない影響、例えばべっつき、繊維割れ(aden feel)をもたらし、毛髪がどばつき、繊維割れが付着してスタイリングにも影響を及ぼしてしまっている。これらの欠点は細い毛髪の場合により顕著になり、生き生きとした感じやボリュームが不足したものに

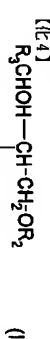
なる。要するに、コンデインョナーを含有する現在の化粧品用組成物は、完全に満足できるものではないことがわかった。

【0004】  
【課題を解決するための手段及び発明の実施の形態】 本出願人は、あるコンデインョナーと、10<sup>6</sup>～100×10<sup>6</sup> c Pの粘度を持つ以下に定義するシリコーンポリマーを組合せることで、これらの欠点を克服できることを見いだした。よって、この問題に関して鋭意研究を行ったところ、本出願人は、コンデインョナーをベースとする従来の組成物、特に毛髪用組成物に、10<sup>6</sup>～1

00×10<sup>6</sup> c Pの粘度を持つ以下に定義するシリコーンポリマーを導入することにより、コンデインョナーをベースとした組成物に伴う他の有利な化粧品特性を同時に保持しながら、そのような組成物に一般に伴う問題、すなわち特に、毛髪を長く垂れた感じにする点線り返し適用した後の重い感じ)及び毛髪の滑らかさソフト感の欠如を、制限するか除去させてしまうことができることを見いだした。

【0005】 更に、特に位立て溶剤(ベンルバ)又はシヤンダーの形態で、皮膚に適用した場合、本発明の組成物は皮膚の柔軟性を改善する。

【0006】 よって、本発明においては、化粧品的に許容可能な媒体中に、以下に定義する少なくとも1つのシリコーンポリマーで、10<sup>6</sup>～100×10<sup>6</sup> c Pの粘度を持つものと、  
—一合成油、  
—動物性又は植物性油、  
—フルオロ油又はパーフルオロ油、  
—天然又は合成ロウ、  
—以下の式(1)：

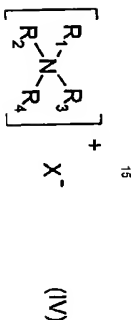


（上式中、  
—R<sub>1</sub>は、C<sub>14</sub>～C<sub>30</sub> 脂肪族から誘導された直鎖状又は分枝状の飽和又は不飽和のアルキル基であり、α位においてヒドロキシル基で、あるいはβ位において飽和又は不飽和のC<sub>16</sub>～C<sub>30</sub> 脂肪族でエスチル化されたヒドロキシル基で置換されることが可能であり；  
—R<sub>2</sub>は、水素原子又は(グリコシル)n、(ガラクトシル)m又はスルホガラクトシル基であり、nは1から4の整数であり、mは1から8の整数であり、  
—R<sub>3</sub>は、α位において飽和又は不飽和のC<sub>15</sub>～C<sub>26</sub> 炭化水素系基であり、この基は1又はそれ以上のC<sub>1</sub>～C<sub>14</sub> アルキル基で置換されていてもよい）のセラミドであった。天然のセラミド又はグリコセラミドの場合、R<sub>3</sub>はC<sub>15</sub>～C<sub>26</sub> α-ヒドロキシアルキル基であってもよく、該ヒドロキシアルキル基は任意にC<sub>16</sub>～C<sub>30</sub> αヒドロキシ酸でエスチル化されていてもよいもの；から選択される少なくとも1種のコンデインョナーを含有する新規の化粧品組成物が提案される。

【0007】 本発明の他の主題は、上述のコンデインョナーを含有する化粧品組成物における、又はその製造における、10<sup>6</sup>～100×10<sup>6</sup> c Pの粘度を持つ、以下に定義するシリコーンポリマーの使用に関する。本発明の種々の主題をここで詳細に記載する。以下に与え

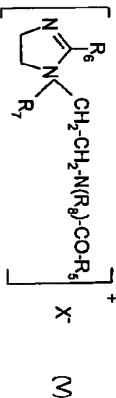




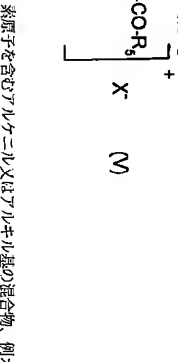


【ここで、Xは、ハロゲン化合物(塩化物、臭化物又はヨウ化物)又は(C<sub>2</sub> - C<sub>6</sub>)アルキルスルファート、より詳細には硫酸メチル、ホスフアート、アルキル又はアルキルアリールスルホナート、アセチート又はラクタートのような有機酸から誘導されるアニオンから選択されるアニオンであり、また、

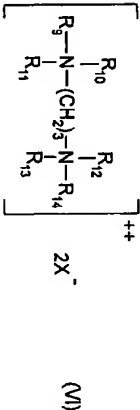
1) R<sub>1</sub> ないし R<sub>3</sub> 基は、同一でも異なっているも多く、直鎖状または分枝状の1ないし4の炭素原子を有する脂肪族基、又はアリールもしくはアルキルアリールのような芳香族基を表す、脂肪族基は、特に酸素、窒素、イオウ又はハロゲンのようなヘテロ原子を含んでいてもよい、脂肪族基は、例えばアルキル、アルコキシ及びアルキルアミド基から選択され、R<sub>4</sub> は16〜300の炭素原子を含む直鎖状または分枝状のアルキル基を示す、カチオン性界面活性剤は好ましくはベンジトリメチルア



【0031】B) - 例えば以下の式(V)のもののようなイミダゾリニウムの第4級アゾモニウム塩:



【ここで、R<sub>6</sub> は例えば脂肪族脂肪族基のような、8〜300の炭素原子を有するアルケニル又はアルキル基を表し、R<sub>6</sub> は水素原子、C<sub>1</sub> - C<sub>4</sub> アルキル基、又は8〜300の炭素原子を有するアルケニル又はアルキル基を表し、R<sub>7</sub> はC<sub>1</sub> - C<sub>4</sub> アルキル基を表し、R<sub>8</sub> は水素原子又はC<sub>1</sub> - C<sub>4</sub> アルキル基を表し、Xはハロゲン化合物、ホスフアート、アセチート、ラクタート、アルキルスルファート、アルキルスルホナート又はアルキルアリールスルホナートからなる群から選択されるアニオンである。R<sub>6</sub> 及びR<sub>8</sub> は、好ましくは、12〜21の炭



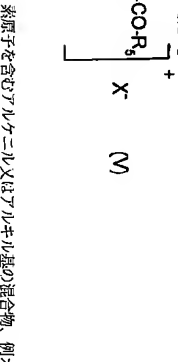
【ここで、R<sub>0</sub> は約16〜300の炭素原子を有する脂肪族基、R<sub>10</sub>、R<sub>11</sub>、R<sub>12</sub>、R<sub>13</sub> 及びR<sub>14</sub> は同一でも異なっているも多く、水素及び1ないし4個の炭素原子を有するアルキル基からなる群から選ばれ、Xはハロゲン化合物、アセチート、ホスフアート、ニトレート及びメチルスルファートからなる群から選ばれるアニオ

16

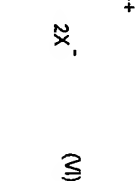
ゾモニウム塩(例えば塩化物)である。

1) R<sub>1</sub> ないし R<sub>3</sub> 基は、同一でも異なっているも多く、直鎖状または分枝状の1〜4の炭素原子を有する脂肪族基、又はアリールもしくはアルキルアリールのような芳香族基を表す、脂肪族基は、特に酸素、窒素、イオウ又はハロゲンのようなヘテロ原子を含んでいてもよい、脂肪族基は、例えば約1〜4の炭素原子を含むアルキル、アルコキシ及びアルキルアミド基及びヒドロキシアルキル基から選択される。R<sub>3</sub> 及びR<sub>4</sub> は、同一でも異なっているも多く、12〜300の炭素原子を有する直鎖状または分枝状のアルキル基を表し、炭素は少なくとも1つのエステル又はアミド官能基を含む。R<sub>3</sub> 及びR<sub>4</sub> は、特に(C<sub>12</sub> - C<sub>22</sub>)アルキルアミド(C<sub>2</sub> - C<sub>6</sub>)アルキル及び香酸(C<sub>12</sub> - C<sub>22</sub>)アルキル基から選択される。カチオン性界面活性剤は、好ましくはスチアラミドプロピルジメチル(ミリスチルアセチート)アゾモニウム塩(例えば塩化物)である。

【0031】B) - 例えば以下の式(V)のもののようなイミダゾリニウムの第4級アゾモニウム塩:

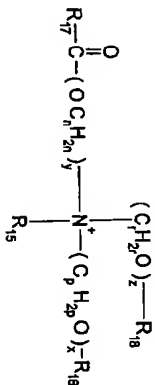


炭素原子を含むアルケニル又はアルキル基の混合物、例えば脂肪族脂肪族基を示し、R<sub>7</sub> はメチルを示し、R<sub>8</sub> は水素を示す。このような製品は、例えばWhitcombにより「シオクオート(Sequoia)」W75、W90、W75PG、及びW75HPGなる名称で販売されているクアテルニウム(Quaternium)-27(CTFA1997)又はクアテルニウム-83(CTFA1997)がある。【0032】C) - 次の式(VI)のジ第4級アゾモニウム塩:



ンである。このような第4級アゾモニウム塩は特にアロバニ脂シアンモニウムジクロリドからなる。【0033】D) - 以下の式(VI)の少なくとも1つのエステル官能基を含む第4級アゾモニウム塩: 【化10】

17



【ここで、R<sub>15</sub> はC<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> アルキル基、C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> のヒドロキシアルキル基又はジヒドロキシアルキル基から選択され:

以下、R<sub>16</sub> は、



直鎖状もしくは分枝状で飽和又は不飽和のC<sub>1</sub> - C<sub>22</sub> 炭化水素系基であるR<sub>20</sub>、

水素原子から選択され、

以下、R<sub>18</sub> は、



直鎖状もしくは分枝状で飽和又は不飽和のC<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> 炭化水素系基であるR<sub>22</sub>、

水素原子から選択され、

R<sub>17</sub>、R<sub>19</sub> 及びR<sub>21</sub> は、同一でも異なっているも多く、直鎖状又は分枝状で飽和又は不飽和のC<sub>7</sub> - C<sub>21</sub> 炭化水素系基から選択され:

n、p及びrは、同一でも異なっているも多い、2から6の範囲の整数であり:

xとzは、同一でも異なっているも多く、0から10の範囲の整数であり:

X-は有機または無機の単または複アニオンであり:

【0034】より詳細には、式(VI)において、

R<sub>15</sub> がメチル又はエチル基を示し、

xとyが1に等しく:

zが0又は1に等しく:

n、p及びrが2に等しく:

R<sub>16</sub> が、

次の式:

【化13】

18



10

メチル、エチル又はC<sub>14</sub> - C<sub>22</sub> 炭化水素系基、

水素原子

から選ばれ: R<sub>17</sub>、R<sub>19</sub> 及びR<sub>21</sub> が、同一でも異なっているも多く、直鎖状又は分枝状で飽和又は不飽和のC<sub>7</sub> - C<sub>21</sub> 炭化水素系基から選択され、

R<sub>18</sub> が、



【化14】

の基、

水素原子

のアゾモニウム塩が使用される。

【0035】このような化合物は、例えば、ベンゼンにはアゾニクオート(Deniquant)の商品名で、ステバニ(Siepan)社によってステバニクオート(Steganquant)の商品名で、セカ(Ceca)社によってノキサニウム(Noxaninum)の商品名で、リウオウナクオート(Rewoquant)WE 18の商品名で市販されている。好適な第4級アゾモニウムの塩としては、ベンジトリメチルアゾモニウムクロリド及びアゾニクイ(An Dyk)社から「セラフィス(Saphary)70」の名前で販売されているスチアラミドプロピルジメチル(ミリスチルアセチート)アゾモニウムクロリド、及びアイトコ(Nitico)社から販売されているクアテルニウム(Quaternium)-27又はクアテルニウム-83が挙げられる。カチオン性界面活性剤は、組成物の全重量に対して0.1〜10重量%、好ましくは0.5〜7重量%、より好ましくは1〜5重量%の範囲の濃度で一般に存在する。

【0036】本発明の組成物は、また、増粘剤、香料、異味剤、防腐剤、シリコーン又は非シリコーンサニタリゼーション剤、ビタミン類、プロビタミソリン、両性、アニオン性又は非イオン性ポリマー、タンパク質、タンパク加水分解物、18-メチルエオコサン酸、ヒドロキシ酸、ベンチノール、両性又は非両性で、腐蝕又は變形又は染料の染色又は未変性シリコーン、及び化粧品に一般的に使用されている任意の他の添加剤で、本発明の組成物の性質に影響を及ぼさないもの

から選択される少なくとも1つの添加剤をさらに含有することができ、これらの添加剤は、組成物の全重量に対して0～20重量%の範囲で本発明の組成物中に存在する。各添加剤の最適な量は、その性質とその機能に応じて当業者が容易に決定することができる。

【0037】本発明に係る組成物は、ケラチン繊維、例えば毛髪、皮膚、睫毛、眉毛、爪、唇又は歯肉、そしてより詳細には毛髪を洗浄又はトリートメントするために使用することができる。本発明に係る組成物は洗い流すコンディショナー又は洗い流さないリープアコンディショナー組成物とすることができる。本発明に係る組成物は、シャンプー、シャワーゲル及び泡立て浴剤又はメーカである洗浄基剤を含有する。洗浄基剤を形成する界面活性剤は、上述のアニオン性、両性及び非アニオン性及びカチオン性界面活性剤から、単独に又は混合物として、優劣なく選択することができる。洗浄基剤の量は、満足できる発泡力及び/又は満足できる洗浄力を最終組成物に付与するのに十分なものである。しかし、本発明において、洗浄基剤は、最終組成物の全重量に対して、4～50重量%、好ましくは6～35重量%、更に好ましくは8～25重量%である。

【0038】本発明の主題はまた皮膚又は毛髪のようなケラチン物質をトリートメントするための方法であって、上述の化粧品組成物をケラチン物質に適用し、ついで必要に応じてそれを水で洗い流すことからなることを特徴とする。しかし、本発明の方法によれば、皮膚、毛髪又は任意の他のケラチン物質からのスクラップの除去、洗浄、ケア、トリートメント及びヘアスタイル

の維持をすることが可能になる。本発明の組成物は、また、毛髪のパーマネント処理、ストレーパー処理、染毛、毛髪のアリーシング、パーマネント処理又はストレーパー処理の前又は後に、あるいはパーマネント処理又はストレーパー処理の施す工程に適用される洗い流す組成物の形態とすることができる。

【0039】本発明に係る組成物はまた皮膚のケア及び/又は毛髪のための水性又は水性-アルコール性ローションの形態とすることもできる。本発明に係る化粧品組成物は、ゲル、ミルク、クリーム、エマルション、増粘ローション又はムースの形態にすることができ、皮膚、爪、睫毛、唇、そしてより詳細には毛髪に対して使用することができる。本組成物は様々な形態に包装することができ、特に組成物を気化した気又は泡の形で適用することを可能にするために、ペーパライザー、ポンプ式ディスプレイ又はエアロゾル容器に収容することができる。このような包装形態は、例えば、毛髪を処理するためのスプレー、ラッカー又はムースを得ることが望ましい場合に好適である。

【0040】  
【実施例】上述した及び以下の全ての記載において、パーセンテージは重量に基づいて表している。次に、実施例により本発明をさらに詳しく例証するが、記載した実施例に限定されるものではない。実施例において、AMは活性物質を意味する。

実施例1  
次の組成を有する本発明に係るコンディショナーを調製した：

ミリスチン酸、パルミチン酸及びステアリン酸	0.5 g
ミリスチル、セチル及びステアリンの混合物	
— ベニルトリメチルアジモニウムクロリド	1.2 g AM
(Clariant社のDolanin K100P)	0.01 g
— N-オレイルジエトキシアミン	
— α、ω-ヒニル基を含むポリジメチルシロキサン/α、ω-ヒドロゲン基を含むポリジメチルシロキサンのコポリマーを67%AM含むカチオン性エマルジョン (ダウコーニング社のDC-1997)	1.36 g AM
セチルアルコールとステアリンアルコールの混合物(重量比50/50)	3 g
— プロピレングリコール中に75%AMを含有するメチルアルキルアルキルアミドエチルイミダゾリニウムメトスルファート溶液 (RenschiのRenogel W5F6)	0.05 g AM
— 91%AMを含むトリメチルシメタコンポリオール(ダウコーニング社のQ2-5200)	0.23 g AM
— 香料、防腐剤	適量
— 水	全体を100gとする量

洗浄して乾燥させた毛髪にこの組成物を適用した。毛髪を2分間放置した後、水で洗い流した。このコンディシ

ョナーでトリートメントした毛髪はソフトで、滑らか

で、容易にもつれがなくなった。

フロントペーシの髪	識別記号	チロド(参考)
(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F1	
A61K	A61K	
7/06	7/06	
7/075	7/075	
7/08	7/08	
7/09	7/09	
7/13	7/13	
7/50	7/50	

(72) 発明者	ザルジニ	バイイ
フランス国	62110	クリシー、リュ
パチリエ	12	デ